



学校だより

2020年3月24日
No.11
射水市立堀岡小学校
校長 佐藤 静香

令和元年度のご支援、ご協力に感謝いたします

突然の臨時休校により、これまでに経験したことのない年度末を迎えました。一年間の締めくくりもままならないまま過ごした3月ではありますが、互いへの思いやりや協力、かけがえのない命を守ることへの覚悟を改めて問われているのではないかと感じております。



子供たちも保護者や地域の皆様も、普段とは違う事態に直面し、大変なご苦勞をされておられるのではないかと思います。日々様々な情報が入り乱れ、刻々と状況が変化する中で、さぞかしご心配されることも多いのではないのでしょうか。お困りのことなどありましたら、学校へもご連絡、ご相談ください。

たとえこれまでとは異なる内容ではあっても、無事に卒業式を終えられたこと、そして本日の終了式を迎えることができましたのも、保護者の皆様、地域の皆様の多大なるお力添えのお陰と心より感謝しております。ありがとうございました。

また、この臨時休校に当たり、地域の方々から「何かできることはないですか」「自主学习教室のお手伝いをしましょうか」などお声をかけていただいたり、堀岡児童室さんからは子供たちの居場所づくりとして、午後からの開室をお知らせくださったりしました。こんなときだからこそ、子供たちを大切に思ってくださっていること、重ねて感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の騒ぎが一刻も早くおさまり、普段通りの日常生活が戻ることを祈るばかりです。新学期には、元気な子供たちと共に力強く新しい一歩を進めていきたいと思っております。来年度も温かなご支援、ご協力をお願いいたします。

卒業おめでとう集会 3月2日(月)



〈感謝のメダルをどうぞ〉



〈いっしょに歌おう〉



〈6年生さんに似ているかな〉



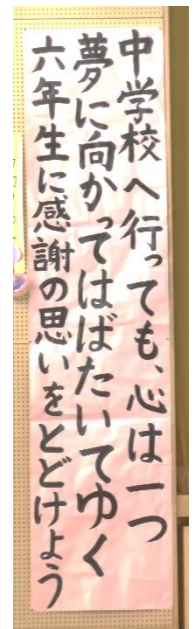
〈6年生のよいところ紹介〉



〈6年間いろんなことがあったね〉



〈リーダーへのメッセージ〉



2日(月)は、全校児童が揃う最後の日になりました。急遽4日(水)に予定していた卒業おめでとう集会を繰り上げ、全校で心温まる楽しいひとときを過ごしました。急な変更にも関わらず、ぎりぎりまで出し物の練習をするなど、どの学年も一致団結し、6年生に感謝の気持ちを伝えることができました。また、6年生もお礼に素敵な歌声を聞かせてくれました。心をつなげて取り組んだ集会は、互いに素晴らしい思い出になったことでしょう。

令和元年度 堀岡小学校卒業証書授与式

3月17日(火)

新たな旅立ちに幸多かれと心からお祈りします

26名の卒業生が、堀岡小学校を巣立っていきました。練習する時間もなく、ほとんどぶっつけ本番にもかかわらず、子供たちは大変立派な態度で見事にやり遂げました。

1年前の4月、初めて出会った6年生は、素直で優しく、最高学年としてきびきびと行動する姿が、とても頼もしく映りました。きっといろいろな場面で互いに協力し切磋琢磨しながらさらに成長していくのだろうな、と楽しみになったことを憶えています。そしてこの1年、運動会や宿泊学習、学習発表会といった大きな行事だけでなく、日々の姿においても、期待を上回る頼もしいリーダーぶりを見せてくれました。

4月からは中学生として新たな世界に旅立つ子供たちです。中学校では、小学校とは違う環境の中で、戸惑うことやひょっとしたらうまくいかないこと、苦しいことにも出会うかもしれません。しかし、きっと大丈夫です。子供たちはそれらの困難を乗り越える力を十分にもっています。なぜなら、仲間と共に協力し、がんばった経験と絆があるからです。さらに、力になる家族や地域の皆様が見守っておられます。

「転んだら起きるでたくましく」私たち大人にできることは、子供たちの成長を信じ、勇気付け、たくましく乗り越える姿を温かく見守ることではないかと思っています。小学校で培った力や仲間との絆を忘れず一人一人が「なりたい自分」を思い描き、自信をもって羽ばたいていってください。教職員一同、心からのエールを送るとともに、26名の卒業生の前途に幸多かれとお祈りいたします。



〈みなさんありがとうございました〉



〈小学校生活最後の授業〉



〈26名の前途に幸多かれ〉

卒業記念品贈呈式・卒業記念品授与式 3月17日(火)

卒業式に先立ち、6年ワークスペースにおいて卒業記念品贈呈式並びに卒業記念品授与式を行いました。卒業記念品として「マルチフレキシブルゴール・ネット」一式を寄贈していただきました。軽くて持ち運びしやすい簡易型のゴールです。ありがとうございました。体育科のサッカー等の授業で大切に活用させていただきます。

また、卒業記念品授与式では、PTAのみなさんからの卒業記念品を浅尾PTA会長様に授与していただきました。



〈卒業記念品〉

3月11日(水)、学校前の桜並木(タカトオコヒガンサクラ)がほころび始めました。おもて面の写真は、その朝に撮ったものです。やさしい微笑に出会ったような温かな気持ちになりました。9年前のこの日、未曾有の東日本大震災によって多くの人々が被害に遭い、たくさんの尊い命が奪われました。復興が進んでいる所もあれば、未だに避難生活を強いられている方々が多いとも報じられています。今、私たちは新型コロナウイルス感染症をはじめ、先行きが不透明なことによる様々な不安を抱えています。しかし、震災で被害を受けられた方々のことを思うと、元気に生かされていることのありがたさを感謝せずにはいられません。前回、この学校だよりで「思うようにならないことがあっても、あるがままを素直に受け止め、その中で最善を尽くす」堀岡っ子のよさを紹介しました。子供たちを見習い、今できることを精一杯に取り組みむことの大切さを忘れずに過ごしたいものです。

卒業式には、まるで子供たちの新たな門出を祝うかのように、桜たちが花道を彩ってくれました。本日の終了式でも、登校する子供たちを元気付けるように満開の花で迎えてくれました。精一杯に咲く花は美しく、その鮮やかな姿は、前へ進む勇気を与えてくれます。子供たちには、4月からの学校生活で夢や希望を大きく膨らませ、一人一人が世界に一つだけの特別な花を咲かせてほしいと願っています。